

空を見る。  
大地のことを、考えている。

2025.7.1



北海道エアポート(株)  
総合企画本部 空港計画部 空港計画課

小幡、竹内

## Hokkaido Airports\* (通称:HAP)

- 空港コンセッション(民営化)により、道内7空港の運営会社として2019年8月に設立
- 2020年6月より順次、7空港の一括運営を開始





†出典: GoogleMap



## 滑走路の管理・運用

- 航空機に乗るお客様の安全・安心を第一に、滑走路、誘導路等のオペレーション・維持管理を行い、航空機の安全・安心かつ円滑な運航を支える。

### 業務例)

滑走路、誘導路、駐機場の日常点検及び維持管理

航空機が使用する駐機場の調整(スポット調整)

異常時(ハイジャック等)に備えた訓練

降雪時の除雪





## 旅客ターミナルビルの管理・運用

- 誰もが快適かつ安全・安心に過ごせる空港を造り、施設の維持管理やターミナルビルの商業施設としての魅力向上に努め、利用者増と売上増を目指す。

### 業務例)

新店舗の誘致やマネジメント(売上管理・分析)

新たな施策(ポップアップストアやイベント)の企画・運営

ビル施設の維持管理





## 観光開発・航空ネットワーク拡充

- 北海道全域の観光資源の掘り起こしや新規路線の拡充により、流動人口の最大化に努め、北海道のさらなる発展に貢献する。

業務例)

道内観光情報の開発、情報収集・分析

国内外への観光情報、交通情報発信

旅客便・貨物便の新規就航誘致・路線拡充

ビジネスジェット誘致



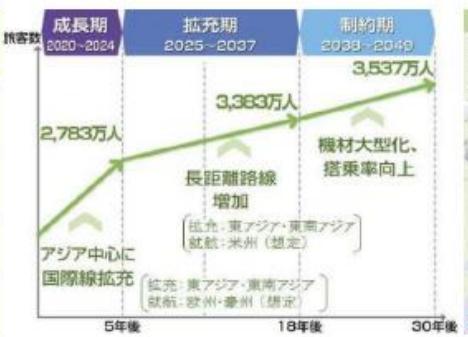


## ■ 新千歳空港の目標値

	2017年度	2024年度 (5年後)	2049年度 (30年後)
旅客数	2,309万人	2,783万人	3,537万人
国内線	1,960万人	2,156万人	2,448万人
国際線	349万人	627万人	1,088万人
貨物量	2,092百トン	2,238百トン	2,446百トン

(※四捨五入により合計が合わない場合がある)

## ■ 新千歳空港の成長のステップ



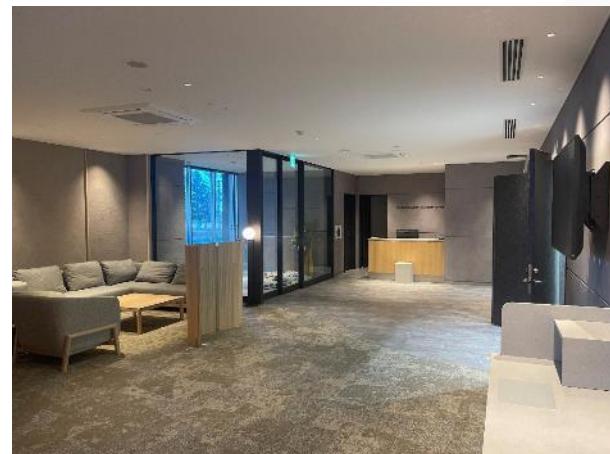
## ■ 新千歳空港の航空ネットワーク(30年後の想定)



- ・ **新千歳空港 ビジネスジェット(プライベートジェット)専用施設新設**
- ✓ 国際的なビジネスジェットによる移動需要の高まりを受け、2023年12月に開業
- ✓ 保安検査場、税関・出入国管理・検疫所(CIQ施設)、ラウンジスペースを完備



外観



ロビー(入口側)



到着側待合室

# マスターplan(帯広空港)

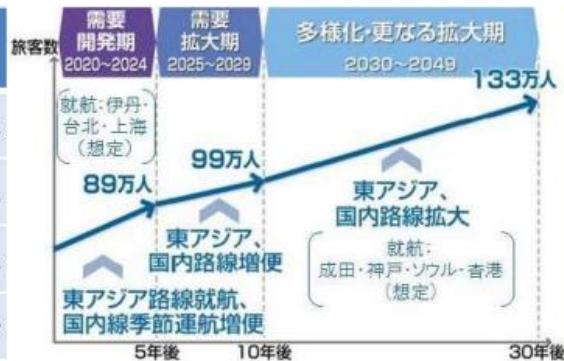


## ■ 帯広空港の目標値

	2017年度	2024年度 (5年後)	2049年度 (30年後)
旅客数	67万人	89万人	133万人
国内線	67万人	79万人	113万人
国際線	0万人	10万人	21万人
貨物量	23百トン	27百トン	32百トン

(※四捨五入により合計が合わない場合がある)

## ■ 帯広空港の成長ステップ



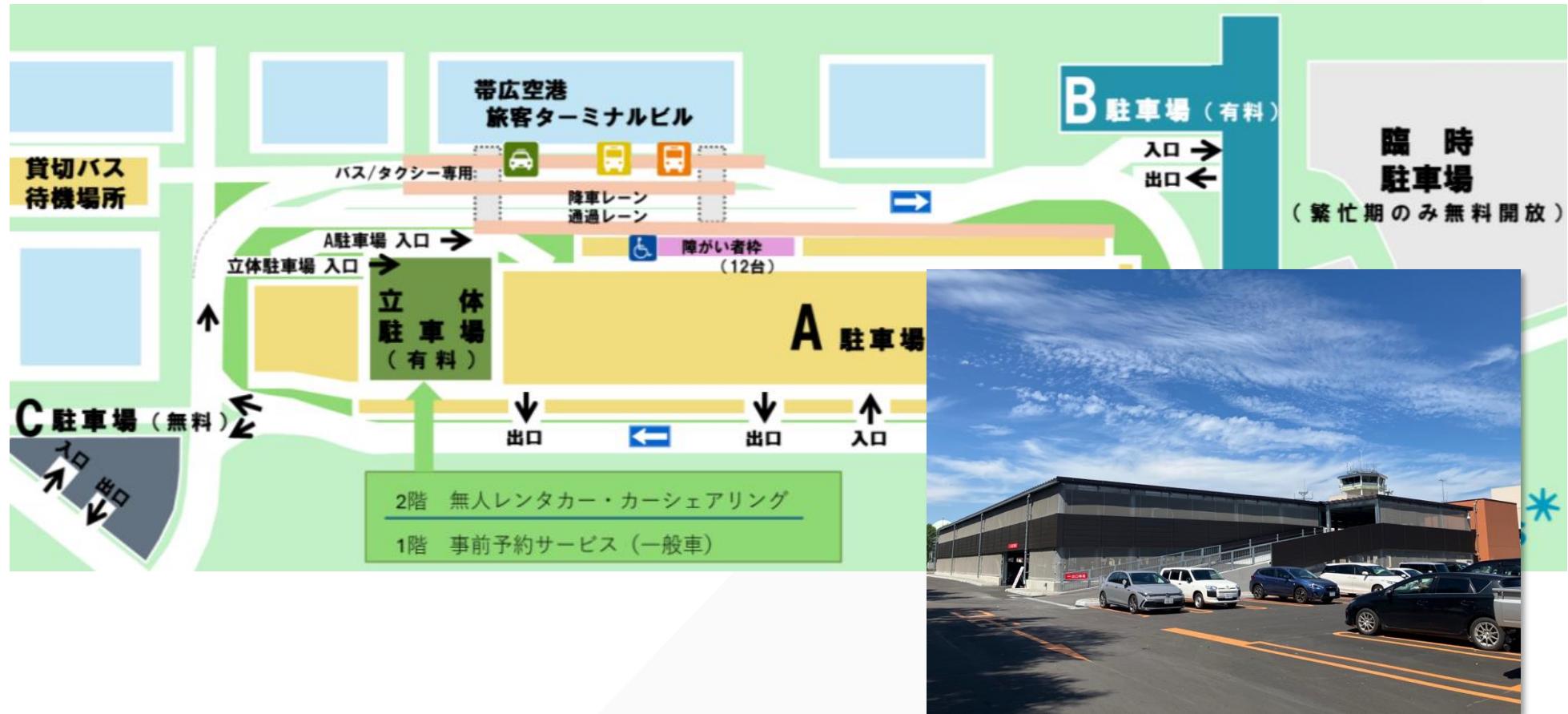
## ■ 帯広空港の航空ネットワーク(30年後の想定)



(※現在の就航路線は季節運航便を除く)

- ・ 帯広空港 駐車場・構内道路整備工事(2025年6月完成)

- ✓ 立体駐車場を新設
- ✓ 構内道路を再編し、公共交通と一般車両の動線を分離



# 釧路空港 滑走路マラソン

## ・ 釧路空港 滑走路マラソン

- ✓ 2025年6月14日開催
- ✓ 滑走路運用開始前の早朝時間帯に滑走路や誘導路を利用したマラソン大会を開催

### Press Release

Hokkaido Airports\*

2025年3月14日(金)  
北海道エアポート株式会社  
釧路空港事業所

#### 「釧路空港マラソン」開催決定！ ～滑走路をランニング 道内初の取り組み～



2025年6月14日(土)、たんちょう釧路空港にて滑走路など特設コースでランニングを楽しめる「釧路空港マラソン」を開催いたします。滑走路など空港施設を活用した、北海道内の空港で初めての試みとなります。

コースは滑走路や誘導路など、航空機が通過するエリアを含む約10km。通常は立ち入ることができない区域を駆け抜ける唯一無二の体験をご提供いたします。

釧路空港を運営する北海道エアポート株式会社は、2030年の目指す姿「HAP2030ビジョン」を2023年に策定。「北方圏の空港運営のリーディングカンパニーとして、北海道を元気にする」目標を掲げました。空港運営会社だからこそできる施策を通じて釧路地域を盛り上げたいとの思いから、開催が実現しました。

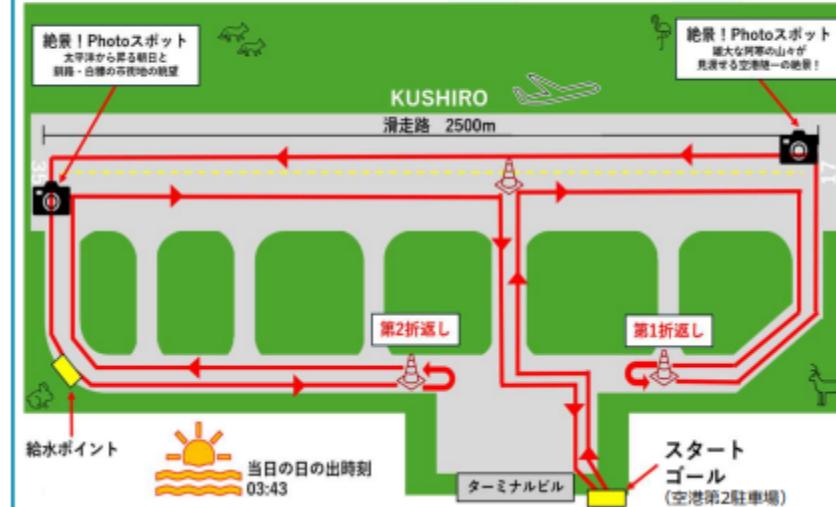
開催にあたっては、株式会社ミツ輪商会(住所:釧路市鳥取南)など多くの企業からのご協賛、北海道や釧路市からのご後援が決定しました。

本日3月14日(金)に大会特設ページを開設しました。3月19日(水)12時には、特設ページ内で参加者のエントリーを開始いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

Hokkaido Airports\*

### 大会コース、スケジュール

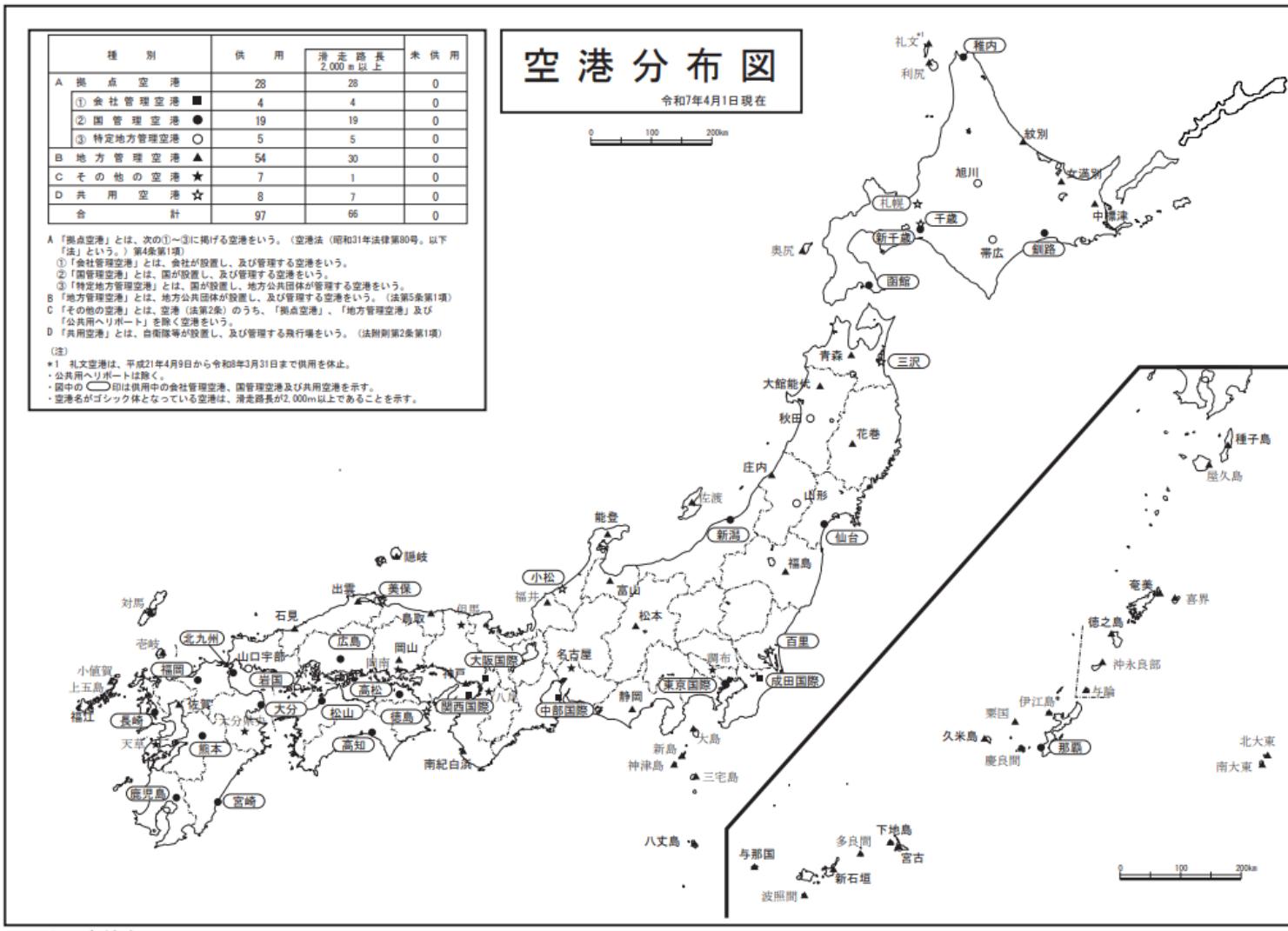
#### コースMAP



#### 大会スケジュール

3:10~4:00	力ぎ預かり・金属探知チェック
4:10	開会式・競技説明
4:30	競技スタート(制限時間90分)
5:10	5km地点開門時刻
5:40	表彰式
6:00	競技終了

## 97空港



国土交通省航空局

## ・ 空港法による種別

⇒「飛行機が離着陸できる最低限の機能(=滑走路等)を誰が設置し、管理しているか」で区分

種別	空港数	設置者(建設者)	管理者(所有者)	例
会社管理空港	4	空港会社		成田、中部、関西、伊丹
国管理空港	19	国		新千歳、稚内、釧路、函館、羽田、福岡、那覇等
特定地方管理空港	5	国	地方公共団体	旭川、帯広、秋田、山形、山口宇部
地方管理空港	54	地方公共団体		女満別、利尻、礼文、中標津、紋別、奥尻、静岡、神戸等
その他の空港	7	その他		調布、名古屋小牧、但馬、天草等
共用空港	8	自衛隊等		札幌丘珠、三沢、百里(茨城)、小松、岩国、徳島等

## ・ 空港会社(空港コンセッション前)

会社名	法人	出資割合
成田国際空港株式会社(成田)	特殊法人	国100%
中部国際空港株式会社(中部)	指定法人	国40%、地方公共団体10%、民間50%
新関西国際空港株式会社(関西・伊丹)※	特殊法人	国100%

※2016年4月より「運営」は関西エアポート(株)

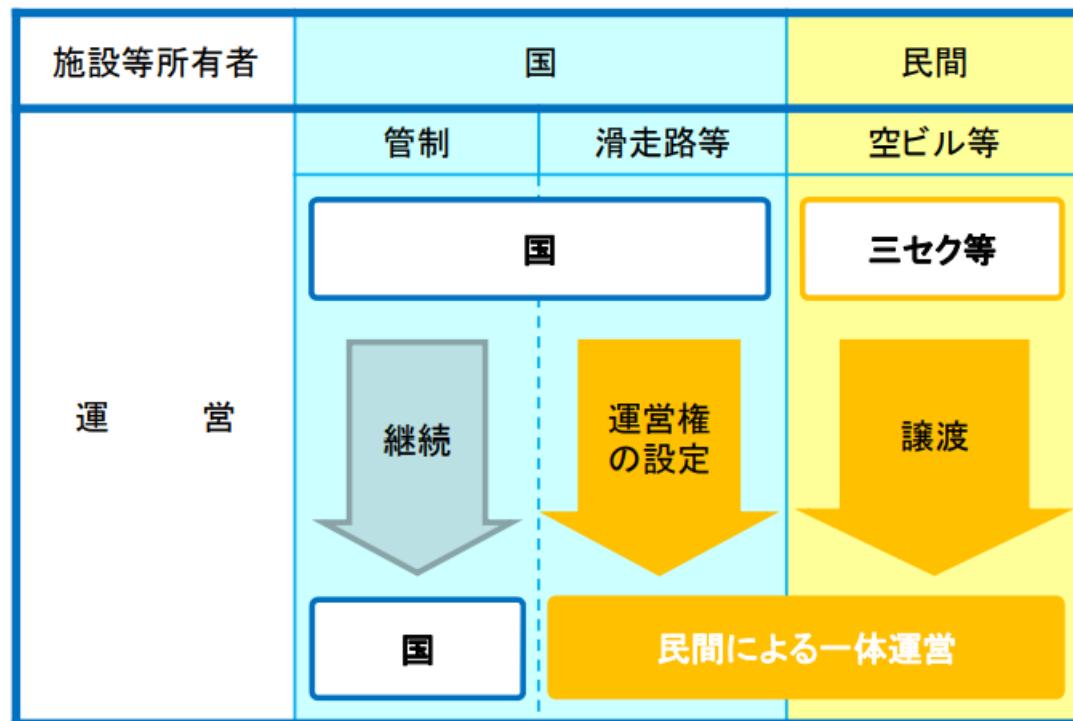


**滑走路と旅客ターミナルビルの運営主体が分離**  
(会社管理空港等の一部空港を除く)

‡出典: GoogleMap

# 空港コンセッションによる空港一体運営

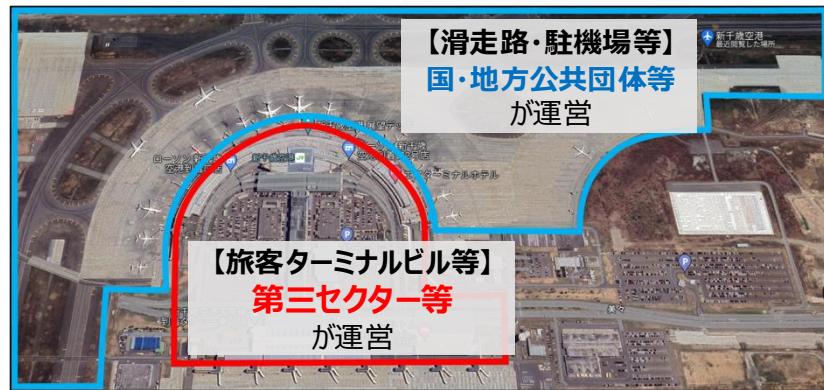
- 滑走路等:コンセッション方式により、民間事業者に**運営権を設定**
  - 旅客ターミナルビル等:第三セクター等から民間事業者に**譲渡**
- ⇒ 民間事業者による滑走路等と旅客ターミナルビル等の一体運営を実現



出典:国土交通省ウェブサイト,  
<https://www.mlit.go.jp/statistics/content/001426050.pdf>

†出典: GoogleMap

空港コンセッション前

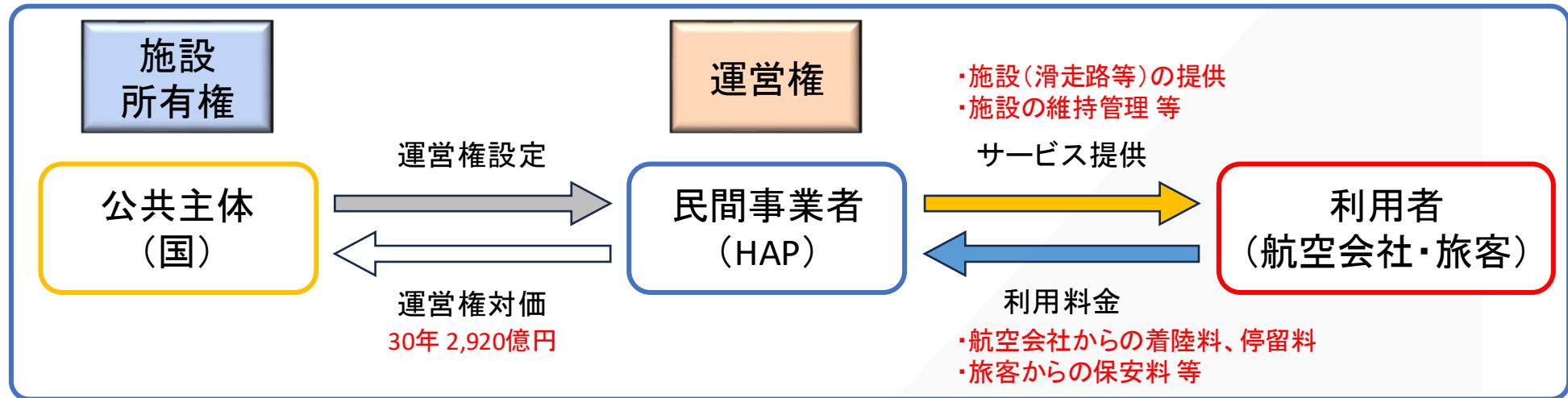


空港コンセッション後



# コンセッション方式とは

- 「コンセッション方式」とは
- ✓ 施設等の所有権を**公共主体に残したまま**、民間事業者に運営権を設定する方式
- ✓ 水道事業(宮城県)、有明アリーナ(東京都)等の民営化でも採用



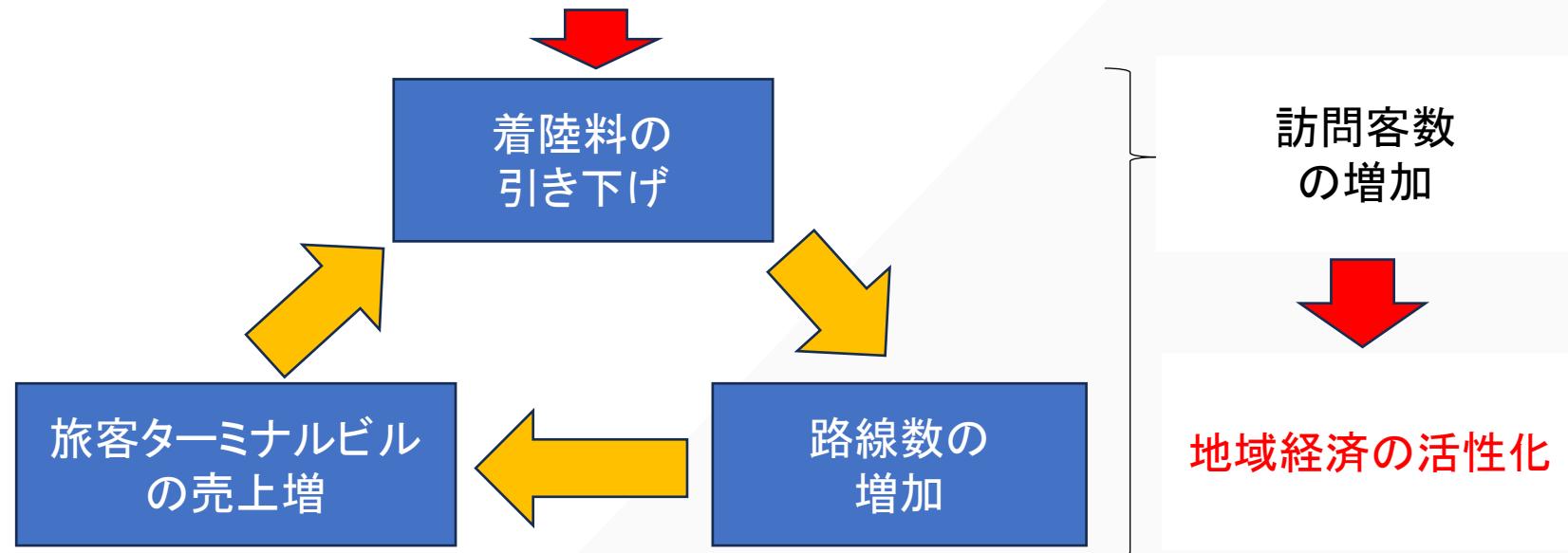
## 新千歳、稚内、釧路、函館空港での例

- ✓ 滑走路等を所有する国は、**滑走路等を運営する権利**(運営権)を民間事業者(HAP)に売却
- ✓ 運営権を購入した民間事業者(HAP)は国に対して**運営権対価**を支払
- ✓ 民間事業者(HAP)は、国が所有している滑走路等を、**一定期間**(30年間)、**自社のモノのように使わせてもらい**、空港を運営(サービスを提供し、利用料金を徴収)
- ✓ 空港運営で得られる収入は全て民間事業者(HAP)に

## ・ 空港コンセッションの目的

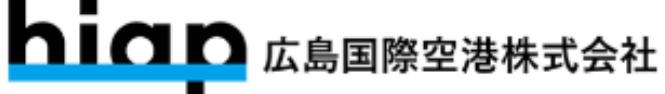
民間による創意工夫を活かした、滑走路等及び旅客ターミナルビル等の一体運営を実現し、着陸料等の柔軟な設定や機動的なエアポートセールスの実施等を通じた空港経営の効率化、航空ネットワークの充実、交流人口拡大等による地域活性化を目指す。

- ・滑走路等と旅客ターミナルビル等の一体化
- ・民間の資金とノウハウを活用した空港運営



※国土交通省資料を基に作成

# 日本のコンセッション導入空港(民活空港運営法)

<p><b>コウノトリ但馬空港</b> KOUNOTORI TAJIMA AIRPORT TERMINAL</p> <p>但馬空港ターミナル(株) 2015年1月1日～</p>	<p> 仙台国際空港</p> <p>仙台国際空港(株) 2016年7月1日～</p>	<p> TAKAMATSU AIRPORT</p> <p>高松空港(株) 2018年4月1日～</p>
<p> KANSAI AIRPORTS</p> <p>関西エアポート神戸(株) 2018年4月1日～</p>	<p> 鳥取砂丘空港 OTOROJI SAND DUNES CONAN AIRPORT</p> <p>鳥取空港ビル(株) 2018年7月1日～</p>	<p> 富士山静岡空港 Mt.Fuji Shizuoka Airport</p> <p>富士山静岡空港(株) 2019年4月1日～</p>
<p> 福岡国際空港株式会社 FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.</p> <p>福岡国際空港(株) 2019年4月1日～</p>	<p> 熊野白浜リゾート空港 Kumano – Shirahama Resort Airport</p> <p>(株)南紀白浜エアポート 2019年4月1日～</p>	<p> 熊本国際空港株式会社 Kyushu Kumamoto International Airport Co., Ltd.</p> <p>熊本国際空港(株) 2020年4月1日～</p>
<p> Hokkaido Airports*</p> <p>北海道エアポート(株) 2020年6月1日～</p>	<p> hiap 広島国際空港株式会社</p> <p>広島国際空港(株) 2021年7月1日～</p>	<p><b>・富山空港</b> 2026年4月より民間委託予定</p> <p><b>・新潟、大分、小松空港等</b> 民間委託に向けて検討中</p>

## 【自己紹介】

氏名:小幡 栄

所属:本社 総合企画本部 空港計画部 空港計画課

入社:2024年4月(入社2年目)

出身:東京都江戸川区

北海道歴:8年目

## 【経歴】

2018年3月 東京都の私立高校 卒業

2018年4月 北海道大学 入学(総合入試理系)

2019年4月 工学部 環境社会工学科 社会基盤学コース 分属

2021年4月 社会資本計画学研究室 配属

2022年3月 北海道大学 工学部 卒業

2022年4月 北海道大学大学院 工学院 北方圏環境政策工学専攻 入学

2024年3月 北海道大学大学院 工学院 修了

2024年4月 北海道エアポート(株) 入社

## 【旅行】

- **北海道全179市町村制覇**を目指して、週末や長期休みにレンタカーor鉄道で旅行  
⇒利尻島、礼文島だけ行けず...
- 帰省時の本州への移動拠点は**港**  
⇒フェリーで本州に移動し、鉄道で実家に帰省  
(東北地方を観光しながら)



## 【野球観戦】

- 小学生の頃から**日本ハム**の大ファン
- 中学、高校時代は、東京ドーム主催試合(当時)や二軍鎌ヶ谷スタジアムに足を運ぶ
- 大学入学後は、札幌ドーム・エスコンフィールドで80試合以上観戦
- 道内の地方球場(旭川、釧路、帯広、函館)は全て制覇



## 【アルバイト】

- 大学構内の食堂で配膳、小鉢の盛付
- 塾教材の校閲作業(在宅)

- 専攻: 土木工学(交通計画、都市計画、交通工学等)
- 卒業論文: **北海道新幹線函館駅乗り入れ**について、需要推計や事業採算性の分析  
⇒Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.15, 2024  
“Feasibility of Direct Shinkansen Service to Hakodate Station Using Mini-Shinkansen”
- 修士論文: 新幹線札幌延伸が道内在来線(維持困難線区)に及ぼす効果の分析  
⇒卒論、修論共に**北海道新幹線**について扱った

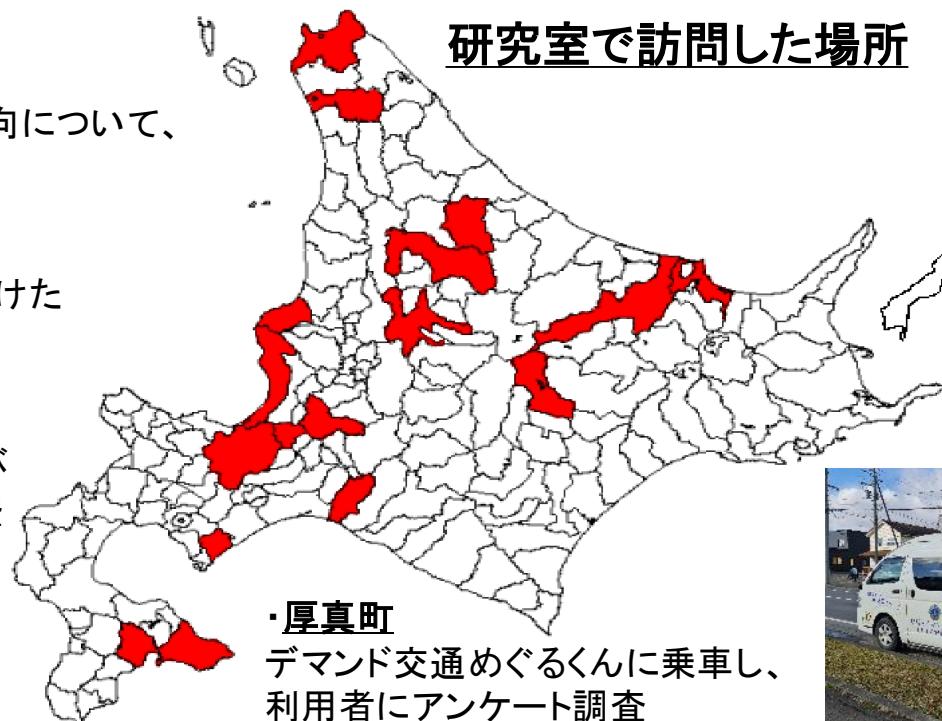
・石狩市、土別市  
交流拠点の利用実態、利用意向について、  
住民にアンケート調査

・札幌市、岩見沢市、旭川市  
道路の運搬排雪の効率化に向けた  
現地視察・データ収集

・増毛町  
流雪溝について、現場視察及び  
沿道の居住者にアンケート調査

・北斗市  
新函館北斗駅の  
乗換動線を現地視察

## 研究室で訪問した場所



・沖縄県  
国内学会参加  
⇒土木計画学研究発表会

・マレーシア  
国際学会参加  
⇒東アジア交通学会



## 【採用試験を受けた業界】

- ・ 空港(運営)会社
- ・ 鉄道会社
- ・ 高速道路会社
- ・ 建設コンサルタント(交通・都市計画、道路分野)  
⇒ 交通インフラ業界と建設コンサル

## 【就活の軸】

- ・ 北海道で働くことができる企業  
⇒ 本社もしくは支店が北海道に所在
- ・ 人々の移動に影響を与えられる企業  
⇒ 小さい頃から交通機関(鉄道や飛行機)に興味があったことから、仕事でも公共交通に携わりたい

## 1. 北海道全域が事業フィールド

### ✓ 7空港一括運営

→ HAP運営7空港の利用者数は、北海道内全空港の97%(2023年度)を占めており、多くの来訪者が7空港を拠点に、道内各地へ移動

⇒ 7空港の所在地以外の市町村にも、空港が大きな影響を与えている

✓ 7空港間で転勤がある為、北海道内の様々な場所で仕事ができる

## 2. 空港＝”特別な場所”

✓ 国内旅行(北海道、沖縄等)や海外旅行等の特別な用事がある時に空港を利用

⇒ 空港利用時のワクワク感

✓ 北海道への来訪者が最初に降り立つ場所は空港

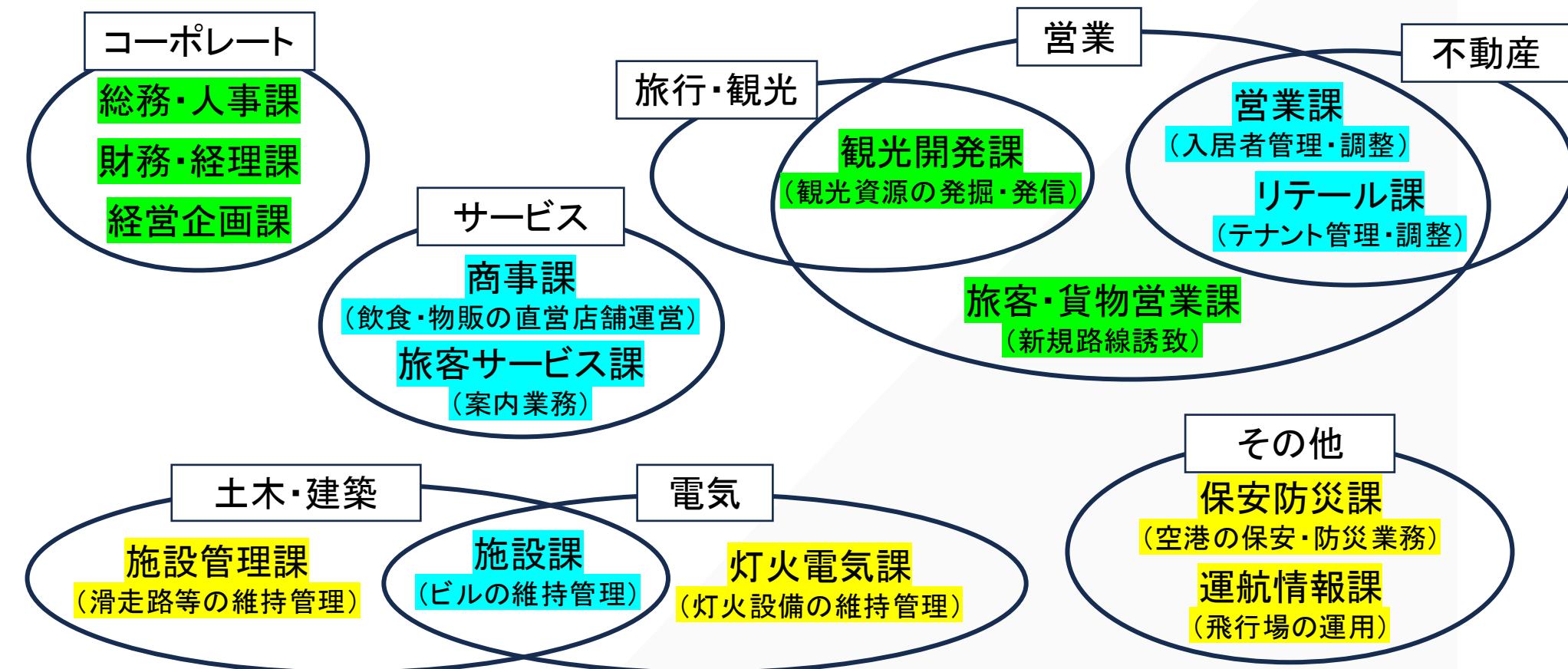
→ 県庁所在地(札幌)まで新幹線が未開通であることから、約9割※が飛行機で来道

⇒ 北海道の第一印象が空港で決まる

※2015年度全国幹線旅客純流動調査より

### 3. 様々な職種

- ✓ 土木・建築・電気系から営業、観光、不動産関係まで幅広い部署がある
- ✓ 総合職採用である為、理系・文系関係なく、様々な部署に配属



## 更新投資の計画・設計・工事発注

- 空港計画課で実施する更新投資とは？

空港機能を適切に維持し、航空の安全・安心を担保する為に、エアサイド(赤枠)内の土木施設、電気設備を計画的に更新する投資

例) 滑走路・誘導路舗装の打ち換え、航空灯火LED化、電源設備(監視装置等)の更新  
⇒ **大規模改良工事(日常的な維持修繕は含まない)**



## 1. 更新投資の5カ年計画策定

⇒ 各施設の老朽化状況等を踏まえて、今後5カ年程度の更新計画を策定

## 2. 更新投資の設計業務

⇒ 工事実施時期が確定したら、工事発注に向けた設計業務を発注

## 3. 更新投資の工事発注

⇒ 設計業務の結果を踏まえて、一般競争入札や見積聴取により工事を発注



### Bidding Information

入札情報

2025.04.28 旭川空港 「令和7年度 旭川空港誘導路改良工事」を発注します

2025.03.10 釧路空港 「釧路空港停止線灯監視制御装置製造据付工事」を発注します

2025.02.03 新千歳空港 「新千歳空港B誘導路灯(B4,7)その他改良工事」を発注します

2025.02.03 新千歳空港 「新千歳空港A 0 1 L キューピックル他1箇所製造据付工事」を発注します

公式HP「お知らせ(入札情報)」

## 旭川空港誘導路改良工事

- ✓ 供用開始から25年以上が経過し、多くのひび割れ等が発生
- ✓ 定期的に補修をしているが、航空機の安全性に影響が出ている状態
- **誘導路全体の舗装打ち換え**を実施中(2022~2025年度)



①路面切削



②アスファルト敷設



③マーキング



## 2024年度にLED化を行った航空灯火

### ① 誘導路中心線灯（新千歳・旭川空港）

誘導路の中心線付近の舗装に埋め込まれている灯火

### ② エプロン照明灯（新千歳・帯広・女満別空港）

駐機場（エプロン）を照らす照明

### ③ 進入灯（新千歳空港）

着陸する航空機に対して、滑走路の中心線と進入方向を示す灯火



①誘導路中心線灯



②エプロン照明灯



③進入灯

- 就職活動について

- ✓ 就職活動開始当初から業界を絞りすぎた  
→ メインは交通インフラ業界で、少しだけ建設コンサル  
→ その他の業界(公務員、ゼネコン、開発等)は一切検討していない

**自分の興味がない業界の説明会やインターンシップ等にも参加することで  
自分のやりたいことを、改めて俯瞰して考えることができる**

- 北海道の企業に就職する北大生が少ない

- ✓ 部活や学部の知人(就職先を知っている約40人)の中で、北海道の企業に就職した  
のは4人のみ(北海道出身1人、本州出身3人)  
→ 北海道外の企業に就職した知人の多くが、北海道の企業を選択肢に入れていない

**最終的に北海道外の企業に就職する場合でも  
北海道の企業を「選択肢の一つ」には入れて欲しい**



ご清聴ありがとうございました